

# ウミガメ学習会

高知市立春野西小学校4年生

(平成25年5月20日)

5月に入りアカウミガメ（以下、ウミガメ）の産卵シーズンとなりました。高知海岸には毎年たくさんのウミガメの上陸・産卵があります。春野西小学校の4年生は1年間を通してウミガメの学習をしています。ウミガメ保護活動をしている熊沢佳範さんに質問を聞いてもらいましょう。

ウミガメ保護活動をしている熊沢佳範さん



熊沢さん「みんなはウミガメの事をどれくらい知っているのかな？毎日お世話しているので疑問に思った事はないですか？」

4年生「質問したいことを班で話し合ってみてまとめてもいいですか？」



☆4年生たちのウミガメ学習に真剣に取り組む姿勢に感心しました。

☆毎年違う質問が出てくるので熊沢さんも楽しみだそうです。

**四年生** 「ウミガメは一生のうち何回卵を産みますか？」

**熊沢さん** 「ウミガメは親になるのに30年かかる。何才まで生きるのかなど解明されていない事が多い。1シーズンで3～4回産卵にくる。今年産んでまた来年きたり、3年後4年後にくるというカメもいる。」

**四年生** 「卵はふ化していつごろ海にかえりますか？」

**熊沢さん** 「大体70日くらいでふ化します。長い時は90日でかえるカメもいる。砂の温度によって変わってくる。学校のふ化場の観察をがんばってください！」

**四年生** 「産まれてくる卵の大きさはどれくらいですか？」

**熊沢さん** 「平均では直径38mm重さ33<sup>グラム</sup>あります。産まれてすぐの卵は柔らかくブヨブヨしてる。採卵会の時触って確かめてみましょう。」



**四年生** 「産卵時間はどれくらいですか？」

**熊沢さん** 「上陸してもうまく筒状の巣穴が掘れないと、移動して場所を変えるので一晩中かかる時がある。」

**最後に、4年生より熊沢さんに質問です！！**



**四年生** 「僕らがウミガメを守るために心がけることはどんなことでしょうか？」

**熊沢さん** 「砂浜が減っているところもある。ウミガメが上陸して産卵できる場所が少なくなった。高知海岸はとても波が高いので卵をそのままにしておくと流されてしまう。卵がふ化しないとウミガメは絶滅してしまう。(アカウミガメは絶滅危惧種に指定されています。)みんなにはウミガメが無事に卵が産める砂浜を守る事を忘れないでほしい。大人になって車で砂浜に乗り入れたりしないで下さい。

ウミガメの海岸はみんなの海岸でもある。共存していける砂浜にしていきましょう。」

☆ウミガメの話をたくさん聞きましたね。採卵会が楽しみです♪